

冠水被害と対策について

9月8日から10日にかけての記録的な大雨に伴い、坂東普及センター管内で冠水被害が多数発生しています。大雨による災害対策をまとめましたので被害軽減に向けた指導をお願いします。

1. 水稲

水稲に付着した土により、コンバインの刈り刃損傷や詰まり等、トラブルが発生しやすいので以下の注意点に留意しながら刈り取り作業を行ってください。

(1) 刈り取り前

- ・水尻(排水口)を低くしたり、明渠の水甲を開けたりするなど、速やかな排水に努める
- ・収穫作業前にはほ場を見回り、枝や石、ゴミなどを事前に取り除く

(2) 収穫時

- ・湿った泥によるコンバインの詰まり防止のため、水稲がよく乾いてから作業を行う
- ・高水分籾によるコンバインの詰まりや選別ロス、損傷粒の発生低減のため、籾水分が25%以下まで乾いてから収穫作業を行う。やむを得ず高めの籾水分で収穫する場合には、扱胴回転数を落として作業する
- ・低速かつ高めで刈り取りし、夾雑物の混入に細心の注意を払う
- ・倒伏がひどい箇所は発芽、芽腐れ、発酵粒等、品質が著しく低下している可能性が高いので、倒伏のひどい所は避け、立っている所を優先的に刈り取ります
- ・こまめにコンバインの状態（こぎ胴部の網や2番送り部などへの泥の付着状況等）を確認し、機械トラブルを未然に防ぐ

(3) 乾燥・調製時

- ・水分のバラツキを抑え、品質低下を防止するため、最初に常温通風乾燥を行い、高温乾燥を避ける。可能であれば水分18~17%まで乾燥させた後、1日程度貯留して水分の均一化を図り、加温乾燥して水分15%に仕上げる（二段乾燥）。
- ・通常より泥やゴミの付着が多いことが予想されるので、乾燥機・籾すり機の掃除をこまめに行う

○大豆・そば

1. 冠浸水の被害を受けたほ場では、速やかな排水に努める。
2. 大豆では冠浸水による茎疫病の発生や、倒伏による腐敗粒の発生が懸念されるので、必要に応じて防除を行う。